



学校だより

< 家庭数 > 第2号
令和8年4月30日発行
品川区立第四日野小学校
校長 萩原 忠幸
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>

「自立心」「自己肯定感」を育む

校長 萩原 忠幸

早いもので新年度がスタートし、約1ヶ月が過ぎました。子どもたちの元気な声が学校に響き渡り、それぞれの学年の活動に一生懸命取り組んでいる姿が見られます。

さて5月に入ると、6年生の「日光移動教室」(延期予定)を皮切りに学校行事が本格的に始まります。私は常々、親として、教師として、子どもたちが将来自分の力で幸せに生きていけることを願っています。「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」など将来生きていくために必要な力は様々挙げられますが、その土台となるのは「自立心」や「自己肯定感」であると考えます。

「自立」とは、単に一人で何でもできることではなく、自分で考え、判断し、行動し、その結果に責任をもつ一連の過程を身に付けることです。そして、その「心」(意思や思考、感情などの精神的な感情)を支えるのが、条件に関わらず自分を認められる感覚である「自己肯定感」です。

例えば、我が家では、子どもが小学生の時「自立心」を育む第一歩として「任せて見守ること」を心掛けていました。学校の朝の支度で「遅刻するよ。早く着替えなさい。」と口に出し、服を整えてあげるのではなく、「自分で時間を決めて支度する」という責任を与え、できるだけ委ねるようにしていました。自立とは親から子への信頼の証しと捉え、支度の過程でイライラすることも多くありましたが、現在自立している長子を見ると正解だったように思います。また、今思えば、食後の食器洗いなど、家族の一員として協働できる役割を与え、「自己肯定感」につながる達成感や自信を深めていったことも功を奏したのではないのでしょうか。

「日光移動教室」では、2泊3日という短い期間ながらも親元を離れ、自分たちだけで一日の生活を送らなければなりません。時には、飯ごう炊さんなどで自分たちの食を用意したり、時には、敷き布団は三つ折りに、シーツは端をそろえてたたむなど部屋での過ごし方や荷物の整理の仕方で周りに気を遣ったりと、「自立心」や「自己肯定感」が試される場面が数多く出てきます。また、皆で大風呂に入る時は湯船に浸かる前に掛け湯を浴びること、湯船から脱衣所に戻る時は濡れた体をタオルでよく拭くこと、といった公衆のマナーも「自立心」や「自己肯定感」があるからこそ守られているものだと思います。

子どもたちが将来の社会を担い、強く生きていくために必須となる「自立心」や「自己肯定感」。普段の生活とともに学校行事をきっかけに、ぜひご家庭でも、小さな一歩を踏み出す子どもたちの背中を温かく、少しだけ離れたところから見守り、育んでいただければと思います。学校も連携してまいります。

月の生活目標

「相手を大切にする態度や言葉遣いをします」

入学・進級から1ヶ月がたち、子どもたちは新しい学級にも少しずつ慣れてきました。

そして、みんなと一緒に活動する楽しさを味わいながら、いろいろな意見を聞き、考え、学びを広げ深めています。

友達と上手に関わり合うためには、相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動が大切です。

友達に挨拶をする、友達の話をしっかり聞く、相手の気持ちを考えた言葉遣いで話すなどを心掛けるよう指導してまいります。

※暑くなってきました。ハンカチ・水分補給で熱中症予防を心がけましょう。

【お知らせとお願い】

【運動会】

5月30日(土)令和8年度運動会を、品川総合体育館にて実施します。1・3・5年、2・4・6年で開始時刻が違います。後日、配布いたします「令和8年度 運動会のお知らせ」を、ご確認の上、ご参観ください。屋内での開催となります。アリーナ(フロア)での参観は、屋内履きに履き替えていただきます。屋内履きをお持ちください。

【日光移動教室・日光林間学園 延期(予定)について】

5・6年生の保護者の皆様には、既にお知らせを配布しておりますが、日光移動教室・日光林間学園は延期(予定)となりました。実施日等につきましては、区で調整をしていますので、分かり次第追ってご連絡いたします。